

# 工業俱楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／(社)鹿児島県工業俱楽部 企画・編集／広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内  
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail:info@ikic.or.jp

2009 10  
会報：No.44

## 「農商工連携推進大会」開催

日時：平成21年10月7日（水） 場所：城山観光ホテル



講師 大塚洋一郎 氏

平成21年度(社)鹿児島県工業俱楽部秋季大会は、今年「農商工連携推進大会」とし、10月7日(水)午後3時から、多数の会員に加え農林漁業者や農商工連携に関心を持つ関係者等も出席して城山観光ホテルで盛大に開催されました。

川崎暢義会長の挨拶の後、来賓を代表して鹿児島大学の吉田浩己学長(代理前田芳實同大学理事)からお言葉を賜りました。

続いて、来賓11名の紹介が行われました。

講演は、NPO法人農商工連携サポートセンターの大塚洋一郎代表理事を講師にお迎えし、「農商工連携で地域を元気に!」と題して行われました。

講演要旨は以下のとおりです。

“今、一次産業が変わっている。”との切り出しで、農業に関係のなかった人が、農業に参入したり、農業をやってみたいと考えていたりすると。また、農地法の改正(22年1月施行)により企業の参入が容易になることなど、農業も色々な展開が可能になった。この大きな流れの中で、農業のあり方を考えて行きたいとして、レジュメに従って説明がありました。



鹿児島県工業俱楽部  
川崎 会長



鹿児島大学理事  
前田芳實 氏

## CONTENTS

特 集：「農商工連携推進大会」開催

1・2

事務局からのお知らせ

4

(社)鹿児島県工業俱楽部 活動状況

3・4

# (社)鹿児島県工業俱楽部 活動状況

## 委員会

総務企画及び広報・  
デザイン開発  
合同委員会

産学官連携  
委員会

異業種交流  
委員会

人材育成委員会

## プラザ

八日会

8月25日(火) 16:00～ ソフトプラザかごしま1階会議室

- ①工業俱楽部利活用の手引き(仮称)作成について
  - 1)作成の目的
  - 2)具体的な作成作業
    - ・ワーキンググループの編成等

8月11日(火) 16:00～ 県産業会館7階会議室

- ①かごしまモノづくりネットワーク事業(案)について

8月28日(金) 16:00～ ソーホーかごしま6階会議室C

- ①「農商工出会い交流会in川薩」の反省について
- ②次回「農商工出会い交流会in鹿屋」について
- ③「ものづくりフェスタ」の検討について

10月19日(月) 17:00～ ソフトプラザかごしま1階会議室

- ①工業俱楽部新規会員へのオリエンテーションについて

84プラザ

9月10日(木) 9:15～ 鴨池フェリー出発

- 視察見学と宿泊定例会
  - 11:00 視察見学 (有)えこふあーむ
  - 14:00 視察見学 (株)ストーンワークス 他
  - 18:00 定例会 ホテルシーズン日南

8月18日(火) 14:00～ 鹿児島大学総合研究博物館

- ①講演 演題「鹿児島の地質と水」  
講師 大木公彦氏 鹿児島大学総合研究博物館館長
- ②例会
  - ・会員の近況報告
  - ・事務局からの連絡事項

10月22日(木) 15:00～ (財)鹿児島県環境技術協会技術部

- ①施設見学
- ②講演 演題「鹿児島の水の水質」  
講師 四ツ永道史氏 鹿児島県環境技術協会技術部
- ③ディスカッション

さつまプラザ・プラザ  
さくらじま・福祉ビジネス研究部会合同例会

8月24日(月) 18:00～ 鹿児島県市町村自治会館5階505号

- ①講演 演題「介護保険の中でのケアマネージャーの役目」  
講師 新地一浩氏「ケアセンターよしの」統括部長
- ②情報交換

9月28日(月) 18:00～ 鹿児島県市町村自治会館5階505号

- ①講演 演題「焼酎業界のこれからの課題と戦略」  
講師 水上真一氏 小鹿酒造(株)企画研究室長
- ②情報交換

10月22日(木) 18:30～ 焚火処「盛蔵」

- ①情報交換

プラザいもづる

8月21日(金) 18:00～ 一品入魂ゴチ処「彩こう」

工業俱楽部からの連絡事項伝達・近況報告

まず、'70年代初めにローマクラブが提起した「人類の危機」レポートから、有限の地球の中で人口、資源、食料、工業生産等がすべて右肩下がりに転じていくという“成長の限界”に差し掛かるとした2020年が近づいていることに触れ、食糧危機を想定する必要があること、食料自給率を何とか上げていく必要があること、特に諸外国に比べて農地資源の乏しい我が国での農業のあり方、役割等に留意していくべきことを強調。次に、農商工連携とは、ただ商品を作るというものではなく運動であり、参加することに意味のあるものであると。農水省の目的は、日本の農業を強くするために、経産省の目的は日本の地方に元気になってもらうためである。この両省が手を結び昨年農商工等連携促進法を施行することとなったのは画期的であり、正に時代の要請であると。そして、農商工等連携とは、農林水産業、加工(工業)、流通が、通常の商取引よりもう一歩踏み込んだ連携を行うことによって、魅力ある新しい製品やサービスを創造し、地域に活力を生む運動であり、交流であると。

さらに、農商工連携の具体例や連携のポイント、取り組み方などについて説明がありました。



休憩を挟んで、事例発表・パネルディスカッションに入りました。

コーディネーターは講演を頂いた大塚洋一郎氏に務めていただき、事例発表は、熊本県から(株)福田農場ワイナリーの福田興次社長、宮崎県から(有)新福青果の新福秀秋社長、鹿児島県から(有)霧島高原ロイヤルパークの平邦範社長をお招きし、それぞれ農商工連携のポイントや留意点、成功体験等を発表してもらい、ディスカッションに入りました。

福田氏は、連携においてもたれ合いは駄目で、お互いの得意分野を活かすべきと。

新福氏は、経済産業省のIT活用型経営革新モデル事業を活用し、ITで無理、無駄を省き、経験値や農地の特性等を共有化している。農業もさらにIT化を進めるべきと。

平氏は、農商工連携は以前からやっていたことで、地産地消がきっかけ、さらに国産国消へ、そして、アジアも対象としていくと。

等々、コーディネーターの巧みなリードで貴重な体験談等を引き出していました。

講演と事例発表、ディスカッション等を通して今後の事業展開や連携のあり方等に貴重な情報を得ることができたと、出席者に大変好評でした。

交流パーティでは、講師の大塚氏、3人のパネラーはもとより、岡積鹿児島県副知事、吉留(財)かごしま産業支援センター理事長、前田鹿大理事ほか大会にお見えの来賓、農林漁業関係者各位も参加され、工業俱楽部らしい意義ある交流会となりました。



### 「かごしま産業おこしフェア2009」について

本県産業に活力をもたらす契機とするため、鹿児島市の鴨池ドームをメイン会場に、次のとおり開催されます。

**【日 時】** 11月13日(金)～15日(日)

13日：午後1時～午後5時

14日：午前10時～午後5時

15日：午前10時～午後4時

**【場 所】** 鴨池ドーム(鹿児島市鴨池2丁目29番3号)ほか

**【内 容】**

○県内中小企業などが製造する工業製品、特産品、伝統的工芸品、農林水産物などの展示・販売

○産業デザインパネル、観光パネルなどの展示

○就職相談会、経営相談会

○関連シンポジウム

・「シラスシンポジウム」

・「島津斉彬生誕200年記念講演会」

**【入場料】** 無料

**【関連イベント】**

\*関連イベントについては4ページ

「事務局からのお知らせ」をご覧ください。

プラザいもづる

9月11日(金)18:00～ 中崎ガーデン(中崎社長宅)

情報交換

10月9日(金)18:00～ ニッセイギャラリー稻音館

①テーマ スライドとトークで絵は楽しい

講師 深川秀夫氏 幸福街道歴史 研究(元高校美術教師)

②情報交換

## 地区プラザ

川薩地区プラザ

10月20日(火) 15:00～ 川内ホテル

①講演 演題「農商工連携事業のご紹介」～概要、認定事例など～

講師 浜田邦三氏 財団法人かごしま産業支援センター

地域力連携拠点班 応援コーディネーター

②各社近況報告

出水地区プラザ

8月26日(水) 18:00～ 鶴の町商工会館 野田支所

①講演 演題「農商工連携事業のご紹介」～概要、認定事例など～

講師 浜田邦三氏 財団法人かごしま産業支援センター

地域力連携拠点班 応援コーディネーター

②情報交換

9月25日(金) 18:00～ 鶴の町商工会館 野田支所

①講演 演題「肥薩おれんじ鉄道の再生について」

講師 古木圭介氏 肥薩おれんじ鉄道 社長

②情報交換

## 事務局からのお知らせ

## 農商工等連携支援事業の推進

- 農商工連携推進大会 10月7日  
農商工連携サポートセンターの大塚洋一郎代表理事の講演や、事例発表・パネルディスカッションを開催。(1面参照)。
- 農商工連携勉強会  
出水地区プラザ(8/26)、川薩地区プラザ(10/20)で開催。
- 農商工出会い交流会in鹿屋 10月28日  
鹿児島大学理事(農学博士)前田芳實氏が講演。相談指導に同氏及び中武准教授。地域の農林漁業者との交流や情報交換等を実施。

## 理事会の開催

9月18日第3回理事会が開催されました。

理事会では「南の島発の黒野菜」が商標登録出願完了したこと、工業俱楽部利活用の手引き(仮称)作成、農商工等連携支援事業の取り組み等について検討確認が行われました。

## 「かごしま産業おこしフェア2009」の開催(2面参照)

日 時 11月13日(金)、14日(土)、15日(日)

会 場 鹿児島市 鴨池ドーム ほか

関連イベントとして次の催しが開催されます。

- ①第43回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」  
・11月13日(金)15時30分～19時
- ・ホテル ウエルビューカゴしま
- ・主 催 (財)かごしま産業支援センター
- (社)鹿児島県工業俱楽部
- (社)九州ニュービジネス協議会

## ②かごしま食と健康フォーラム

・11月14日(土)10時～12時30分

・自治会館4階

- ・主 催 (財)かごしま産業支援センター  
かごしま食と健康フォーラム委員会

## しおり

(焼酎の塩気)

おばかキャラ!

“おばかキャラ”と呼ばれるタレントがいる。

普通の人ならほぼ知っているようなクイズなのに、見当違いのとんでもない解答をしては爆笑を誘う。しかも知らなかったことに恥じらいを見せることがない。

答えは一個のはずなのに、彼らの出す解答のユニークさ、発想の豊かさや柔軟さなど何にも拘束されない思考回路は、イノ

ベーションを常に必要とする今日の工業化社会の中では、貴重に思えなくもない。計算ずくならなお驚異的だ。

彼らは過去の学校教育で何を学んできたのか。単に成績が悪かったのか。いや、本能的に不必要だと判断してきただけではない。その証拠に、クイズに出る知識は、クイズ以外にはほとんど役立たないし、仕事に必要なのは少ない。

何よりも、彼らは、一芸に秀でていて平均的社會人より多く稼ぐし、知名度も高く人気もある。正に、立派に生きている。

社會人として真に必要な能力とは何かを考えると、學校教育の専門家はこの現象をどう説明するのだろうか。